



【優秀句】

選者「馬酔木同人 斎藤玲子」応募数62句

- | | | | |
|----------------|-------|----|----|
| 初夢や母の匂ひの若かりき | 利根町布川 | 中澤 | 則明 |
| 蹴始大地の力もらひけり | 利根町大房 | 大野 | 英二 |
| 生きてこそ夢を希望に年新た | 利根町立木 | 飯塚 | 智子 |
| 寒晴れや辛みうどんの老ふたり | 利根町中谷 | 田上 | 玲子 |
| 里山の雨に光るや花八つ手 | 利根町布川 | 中西 | 武文 |

今も昔も、小中学生に「俳句とは？」と問えば「五七五」と答えます。さらに「俳句を作る人は？」と問えば、「芭蕉として小林一茶」が出て来ます。こんなに有名な「小林一茶」が約2000年前に利根町（布川）と深く関わりがあったことは、町のあちらこちらに一茶の句碑が立っていることでもわかります。さて、布川一茶俳句会は、13年前にこの一茶ゆかりの利根町を再び俳句の盛んな町にしようと仲間が集いました。ここ数年は、町内3つの小学校の3年生以上の全ての学級で、俳句作りのお手伝いをさせていただいております。また毎年秋には、やはり一茶とかかわりが深い徳満寺さんを会場に「布川一茶俳句大会」を開催しています。この大会には、町内外からの一般参加作品が300点を超えています。

また、利根町教育委員会も「心の教育の充実」の一つに「俳句」を据えるなど、小学校5・6年生、中学校1・2・3年生のすべての児童生徒が参加して、大会を盛り上げてくれます。そこで、さらに町の俳句熱を高めようと、利根町役場・利根町文化センター・利根町図書館に投句箱を設置して投句いただき、「広報とね」の紙面をお借りして「投句箱優秀句」の発表をさせていただいております。現在、年に2回、7月と1月の初めに開箱して、「馬酔木同人斎藤玲子先生」に厳正な審査をお願いしております。しかし、今のところ投句者が多いとは言えない感じがしております。昨今、テレビでも俳句の番組が人気です。どうか皆さん、お気軽に投句くださるようお願いいたします。心からお待ちしております。

投句箱への投句のおすすめ

第8回布川一茶俳句会
「投句箱優秀句」の発表 7月〜12月



日本ウェルネススポーツ大学様から英語教育用 AIロボットが寄贈

このたび、学校法人タイケン学園日本ウェルネススポーツ大学（柴岡三千夫学長）より、英語教育用 AIロボット「みんなのチャーピー先生」15台が寄贈していただけることとなり、1月26日（木）、その受領式が行われました。

「みんなのチャーピー先生」は、小学生向けの英会話表現について、本体に搭載された AIにより、実際に対話をしながら学習を行うことができる英会話ロボットです。

受領式で、日本ウェルネススポーツ大学の上原事務長より「これをきっかけに子供たちが英語に興味を持っていただけることを期待しています」とのお言葉をいただき、佐々木町長と海老澤教育長から感謝の言葉が伝えられました。4月から、利根小学校や「子ども英語教室」で活用し、さらなる英語教育への教材として活用させていただきます。



（左から）日本グローバルビジネス専門学校 岩田忠久校長、日本ウェルネススポーツ大学 上原章夫事務長、佐々木町長、海老澤教育長

令和4年度茨城県下水道促進週間コンクール表彰式



1月31日（火）、「令和4年度茨城県下水道促進週間コンクール」知事賞入賞者の表彰式が行われました。

県内44市町村から応募された作品総数32,907点の中から、入賞36点選ばれました。利根町からは「新聞部門」で利根中学校1年高橋迅さんが「知事賞準特選」を受賞されました。

受賞された高橋さんのコメント

ぼくは、たくさんの人に水を大切にに使ってほしいと思い、この新聞を作りました。生活に深く関わっている下水道について、考えてもらう機会になれば光栄です。



受賞作品

ドローン産業株式会社と「災害時における無人航空機の運用による支援活動に関する協定」を締結

ドローン産業株式会社と「災害時における無人航空機の運用による支援活動に関する協定」を締結しました。

この協定は、利根町内で災害が発生または発生する恐れがある場合に、利根町からドローン産業株式会社に無人航空機の運用による支援活動を要請し、情報収集や災害地図作成などにご協力していただきます。

1月16日（月）、役場で行われた協定締結式で、ドローン産業株式会社代表取締役の塚本様は「この協定によって、少しでも利根町に安心を与えることができれば、幸いと考えております」とごあいさつされました。

佐々木町長からは「無人航空機による情報収集などが可能となったことから、迅速に町の被害状況を把握することができるようになり、今後起こりうる災害への備えや対応において、町といたしまして非常に心強いものとなりました」と感謝の言葉が伝えられました。



（左から）ドローン産業株式会社 塚本代表取締役、佐々木町長

立木区で

「あわんとり」が行われました

1月8日（日）、立木区において「あわんとり」が実施されました。

「あわんとり」とは、前年にお祝りしたお礼・お守り・正月飾りなどをお焚き上げし、その火で焼いたお餅を食べて無病息災を願う行事です。

この行事は、立木区消防団の協力のもと、若睦會が主催し行われ、当日は30人ほどの町民の方が集まり、お子さんと一緒に持ち寄ったお餅を焼いて食べていました。

※若睦會とは…

若睦會は20〜40代の町民12名で構成されている立木区の青年団です。円明寺盆踊りの太鼓演奏など、立木区のイベントに関わっています。

